

■営業本部

- 第一営業部
 鹿児島営業所: 鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
 Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800
 南薩営業所: 鹿児島県南九州市知覧町瀬世牧口1160 〒897-0305
 Tel.0993(84)2265 Fax.0993(84)2283
 大島営業所: 鹿児島県奄美市住用町城547 〒894-1111
 Tel.0997(69)5311 Fax.0997(69)5055
 北薩営業所: 鹿児島県薩摩川内市中福良町2135-1 〒895-0042
 Tel.0996(27)1930 Fax.0996(27)2962
 始良営業所: 鹿児島県始良市平松1880 〒899-5652
 Tel.0995(65)3221 Fax.0995(65)3205
 大隅営業所: 鹿児島県鹿屋市川西町4029-2 〒893-0032
 Tel.0994(43)4002 Fax.0994(43)4006
 沖縄営業所: 沖縄県那覇市宇栄原6-14-5
 ヒロマンション101号 〒901-0153
 Tel.098-943-5624 Fax.098-943-5629

- 第二営業部
 宮崎営業所: 宮崎市田代町6-1 〒880-0855
 Tel.0985(20)9241 Fax.0985(20)9059
 日南営業所: 宮崎県日南市大字平山390 〒887-0033
 Tel.0987(23)5500 Fax.0987(23)3580
 都城営業所: 宮崎県都城高城町石山2980 〒885-1205
 Tel.0986(58)4518 Fax.0986(58)4826
 延岡営業所: 宮崎県延岡市北方町角田丑1042 〒882-0104
 TEL.0982(28)5015 FAX.0982(28)5442
 大分営業所: 大分市上戸次字長河原3700番地 〒879-7764
 Tel.097(597)1148 Fax.097(597)1607

- 第三営業部
 福岡営業所: 福岡市博多区東比恵3丁目13-10
 スピリッツ福岡B-C号室 〒812-0007
 Tel.092(474)2450 Fax.092(451)5259
 福岡南営業所: 福岡県みやま市瀬高町廣瀬705番地 〒835-0001
 Tel.0944(62)4123 Fax.0944(63)3281
 対馬出張所: 長崎県対馬市上県町燈滝1062 〒817-1522
 Tel.0920(88)5800 Fax.0920(88)5801
 熊本営業所: 熊本市中央区八王寺町30-1
 メインプレイス熊本南2-A 〒860-0831
 Tel.096(378)5531 Fax.096(378)5532

■総合技術研究所

- 鹿児島技術課: 鹿児島県始良市平松3141-1 〒899-5652
 開発課: Tel.050(3085)9434 Fax.0995(55)1070
 兵庫技術課: 兵庫県小野市万勝寺町969-1 〒675-1311
 Tel.0794(70)7280 Fax.0794(70)7302

■関連会社

東京セメント工業(株)

本 社: 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
 Tel.042(623)7788 Fax.042(625)1777

- 関東営業所: 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
 Tel.042(624)5485 Fax.042(624)0496
 福島営業所: 福島県西白河郡矢吹町諏訪の前15番地 〒969-0247
 Tel.0248(44)2611 Fax.0248(44)2614
 栃木営業所: 栃木県那須塩原市鍋掛1091番3 2F 〒325-0013
 Tel.0287(62)2340 Fax.0287(62)2342
 仙台営業所: 宮城県大崎市松山千石字一本松51番地 〒987-1304
 Tel.0229(55)3131 Fax.0229(55)3139
 仙台事務所: 仙台市青葉区北目町1番18号
 ビースビル北目町 8F 〒980-0023
 Tel.022(796)5071 Fax.022(796)5072
 技 術 部: 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
 Tel.042(624)5485 Fax.042(624)6373
 開発事業部: 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
 Tel.042(623)7783 Fax.042(625)1777

山口インフラテック(株)

山口県防府市大字植松741 〒747-0836
 Tel.0835(29)0021 Fax.0835(29)2940

佐多エンジニアリング(株)

宮崎市本郷北方2150-1 〒880-0925
 Tel.0985(53)9610 Fax.0985(53)9642

- 東日本営業部
 東京営業所: 東京都港区西新橋1-18-6
 クロスオフィス内幸町9F 〒105-0003
 Tel.03(6205)4282 Fax.03(6205)4283
 山梨県南アルプス市荻沢386 〒400-0422
 TEL.055(284)6230 FAX.055(284)6237
 仙台営業所: 仙台市青葉区上杉3-9-4 マエタビル3F 〒980-0011
 Tel.022(211)5131 Fax.022(211)5132

- 西日本営業部
 大阪営業所: 大阪市淀川区西中島6-1-1
 新大阪プライムタワー5F 〒532-0011
 Tel.06(6306)6393 Fax.06(6302)0255
 和歌山営業所: 和歌山県岩出市西野148-1 ミムラビル5-D室 〒649-6235
 Tel.0736(69)1780 Fax.0736(62)1720
 (田辺): 和歌山県西牟婁郡上富田町市ノ瀬7-1 〒649-2107
 Tel.0739(48)0331 Fax.0739(49)0213
 (御坊): 和歌山県日高郡日高町原谷270番地 〒649-1201
 Tel.0738(63)2237 Fax.0738(63)2515
 広島営業所: 広島市佐伯区旭園3番33号清水ビル5F 〒731-5133
 Tel.082(943)5441 Fax.082(924)2056
 京都営業所: 京都市伏見区深草鞍ヶ谷12番地6 〒612-0822
 Tel.075(646)2525 Fax.075(646)3877
 兵庫営業所: 兵庫県小野市万勝寺町969-1 〒675-1311
 Tel.0794(70)7280 Fax.0794(70)7302
 鳥取営業所: 鳥取市上段261-1 〒680-1421
 Tel.0857(24)1840 Fax.0857(23)0018
 出雲営業所: 島根県出雲市斐川町上庄原1654-3 〒699-0505
 Tel.0853(72)0244 Fax.0853(72)0245
 名古屋営業所: 名古屋市熱田区神宮3-7-1 ベンてんビル5F 〒456-0031
 Tel.052(684)7258 Fax.052(684)7259
 三重営業所: 三重県伊勢市小俣町元町1603-1 〒519-0503
 Tel.0596(22)1285 Fax.0596(22)1293
 静岡営業所: 静岡県掛川市本郷416番地 〒436-0111
 Tel.0537(26)2221 Fax.0537(26)0519

- 設計技術部
 鹿児島設計技術課: 鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
 Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800
 宮崎設計技術課: 宮崎市田代町6-1 〒880-0855
 Tel.0985(20)9241 Fax.0985(20)9059
 福岡設計技術課: 福岡市博多区東比恵3丁目13-10
 スピリッツ福岡B-C号室 〒812-0007
 Tel.092(474)2450 Fax.092(451)5259
 西日本設計技術課: 大阪市淀川区西中島6-1-1
 新大阪プライムタワー5F 〒532-0011
 Tel.06(6306)6393 Fax.06(6302)0255
 東日本設計技術課: 東京都港区西新橋1-18-6
 クロスオフィス内幸町9F 〒105-0003
 Tel.03(6205)4282 Fax.03(6205)4283

※社会情勢により、やむなく価格、形状を変更する場合がございますので
 ご了承ください。



注意

- 施工に不備があると、損傷などの原因となる
 こともあります。不明な点は弊社または販売
 代理店にご相談ください。
- 本カタログに記載する製品の仕様および性
 能は、該当製品の一般的な使用条件として
 提示するものです。特殊な条件で使用され
 場合には、事前に弊社の担当者にご相談
 の上、技術的な確認を行ってください。

担当部署

販売店

雑草対策のパイオニア インフラテックの防草製品



防草対策製品のパイオニアとして…

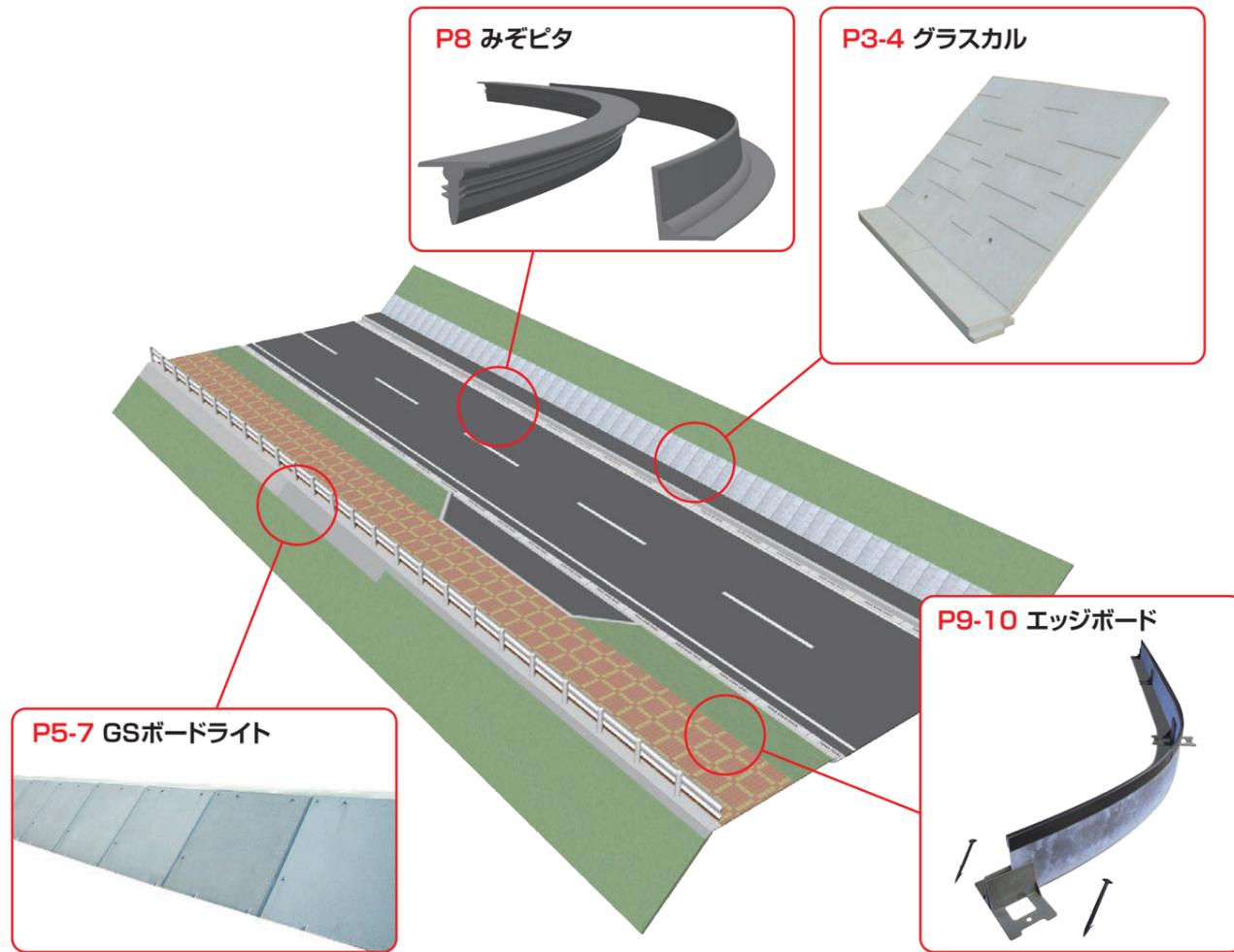
インフラテック株式会社は、1990年「GSボード」の販売を皮切りに、優れた品質の防草対策製品の供給を通じて、除草コストの削減や安全で快適な道路環境整備のお役に立ってまいりました。

この間、より良い製品を安定供給するため、様々な技術革新に取り組み業界をリードする独自のデザイン性と高い技術力で皆様から大きな信頼を頂いております。

お年寄りや子供たちが安心して住むことができるまち作りや環境に配慮した社会基盤整備が全国で行われます。インフラテック株式会社は、これまでに培ってきた総合力で、グループをあげてこれに貢献して参りたいと考えております。

代表的な製品のH27年度
までの納入実績
グラスカル:40,200m
GSボードライト:197,200m

道路空間の様々な箇所で使用可能です。



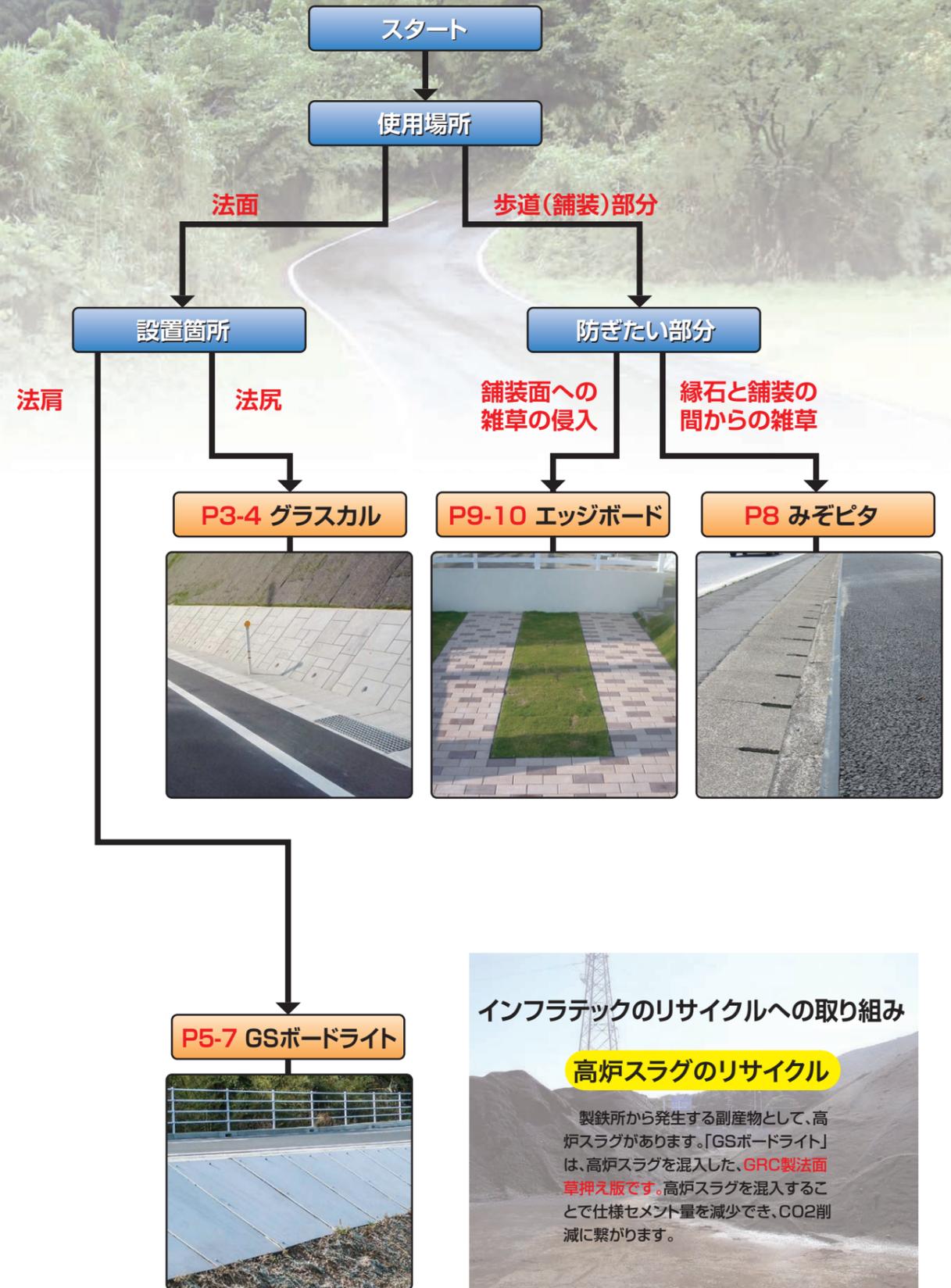
■表示記号について Indication Mark
製品の特性をわかりやすく記号で表示しました。

DL download	GRC	NETIS	NETIS 掲載終了
図面ダウンロードサービス	ガラス繊維補強セメント製品	新技術情報提供システム登録	新技術情報提供システム掲載終了



●図面ダウンロードサービス
弊社製品をご利用頂くお客様に、図面ダウンロードサービスを提供致しております。ご利用には事前に登録・申込が必要です。申込は弊社営業担当に連絡していただいても結構ですが、ホームページからの申込も可能です。ダウンロードの対応している製品には **DL** マークが表示されています。

製品選定のフローチャート



インフラテックのリサイクルへの取り組み

高炉スラグのリサイクル

製鉄所から発生する副産物として、高炉スラグがあります。「GSボードライト」は、高炉スラグを混入した、**GRC製法面草押え版**です。高炉スラグを混入することで仕様セメント量を減少でき、CO2削減に繋がります。

グラスカル〈法面草押え版〉



除草作業の問題を解消します。

グラスカルとは…

メンテナンスフリーの草刈り対策が要望されているなか、道路法面に設置することにより、草刈りの環境改善を目的とした法面草押え版です。

●特長

1.メンテナンスフリー

メンテナンスフリーの対策として歩道及び車道部に設置し、除草作業の問題を解消します。

2.安全性

雑草が車両の視線誘導の障害となることを防ぎ、歩行者通行の障害も防ぎます。

3.景観性

製品表面が景観的に配慮した石肌模様でデザインしており、周囲の環境と調和します。

4.防災性

雑草へのタバコの投げ捨てなどによる火災の発生を防止します。

5.施工性

法面草押え版本体と底版ブロックの接合面を曲面加工にしており法面勾配に対して施工がフレキシブルに対応できます。

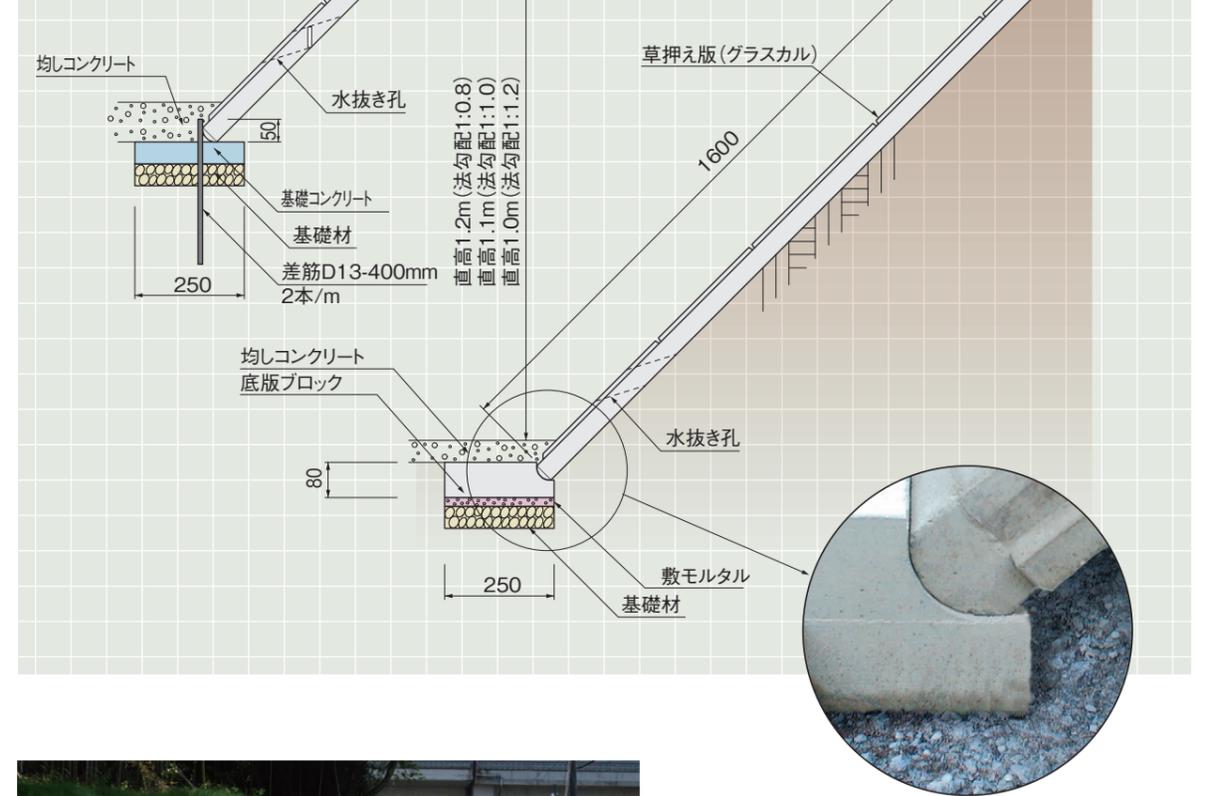


▲グラスカルの石肌模様の表面部の拡大図

■標準施工断面図

※法長600、1100、1600、2200の組合せが可能です。

※底版ブロックを使用しない場合

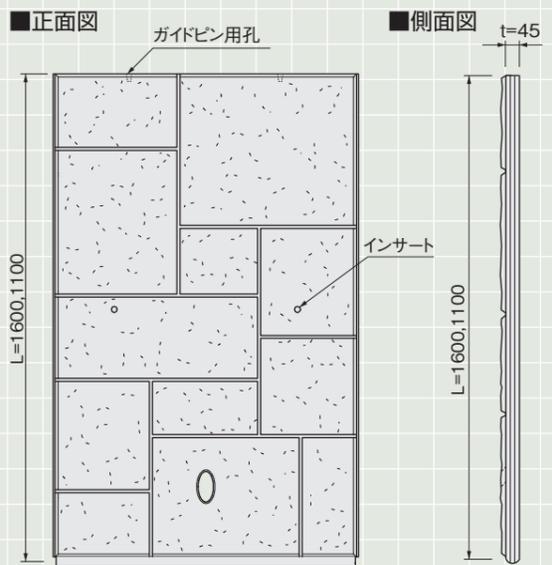


標準施工断面図

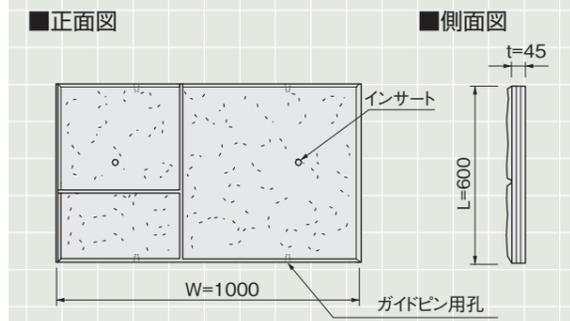
基本形状図

形状・寸法・重量

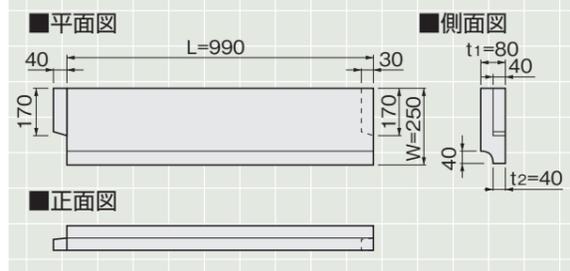
■本体パネル 参考重量=L1600-192kg/L1100-132kg



■上部連結用パネル 参考重量=72kg



■底版ブロック 参考重量=43kg



※ガイドピンは別途オプション販売です。

※地域により底版ブロックの凹凸勘合部が逆になる場合があります。



GSボードライト〈GRC製草押え版〉



道路環境の維持管理に効果を発揮します。

高耐久性・高耐候性 不燃材料:NM-8313

●特長

1.防災性

雑草へのタバコの投げ捨てによる火災の発生を防止します。
(不燃材料:NM-8313です)

2.安全性

雑草が車の運転の障害になるのを防ぎ、歩行者にも通行しやすい環境を保持します。

3.施工性

GRC素材の薄肉版で超軽量(従来のGSボードの約2割軽量)ですので、人力での運搬取付が容易です。また、天端コンクリートの打設も従来のGSボードより容易になりました。

4.安定性

専用金具(ボードファスナー)により版と版を強固に連結し、天端コンクリートを打設するため、本体は軽量でも強風等でめくれる心配はありません。

5.密閉性

版接続部を専用金具(ボードファスナー)と支障ゴムで一体化することにより密閉され、隙間からの雑草の育成を抑制します。また太陽光も完全に遮断します。



重ね合せ部に支承ゴムを貼り、左右の製品を10cm重ねて設置し(写真2参照)、下部はL字アンカー筋で、左右はボードファスナーで、天端は埋設プレートでそれぞれ固定します。

【参考写真】
専用工具「ボードクイッカー」



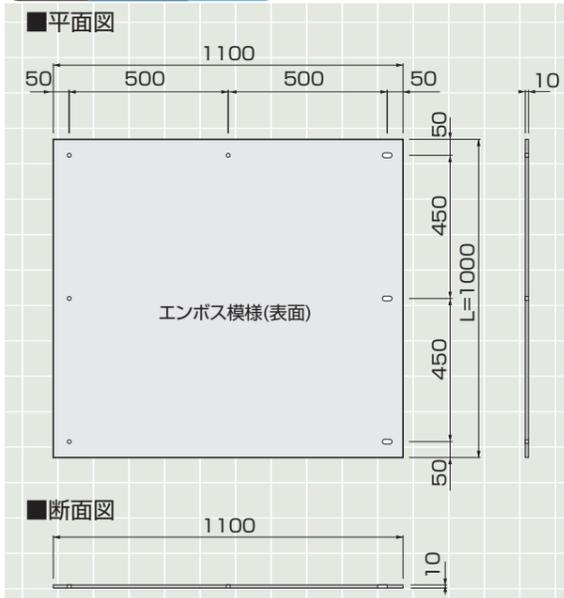
埋設プレートはボルトナットで製品本体に取付け、差筋で固定します。製品とコンクリートの間に隙間ができないように、棒パイプ等で入念に充填しながら路肩部に天端コンクリートを打設します。

完成。

※左の写真は試験施工ですので、実際の製品と金具の位置等が異なる箇所があります。
※法面整形時に必ず除草(木の根処理)してください。
※製品据付は法面成形の仕上がりに影響されますので、法面成形は正確に行ってください。
※連結金具ボードファスナーは専用工具ボードクイッカーで固定してください。
※天端コンクリートの伸縮目地は、製品接合部に合わせてください。
※製品下部の土壌浸食を考慮する場所では、植生ネット、土壌流出防止ネットなどで対応してください。

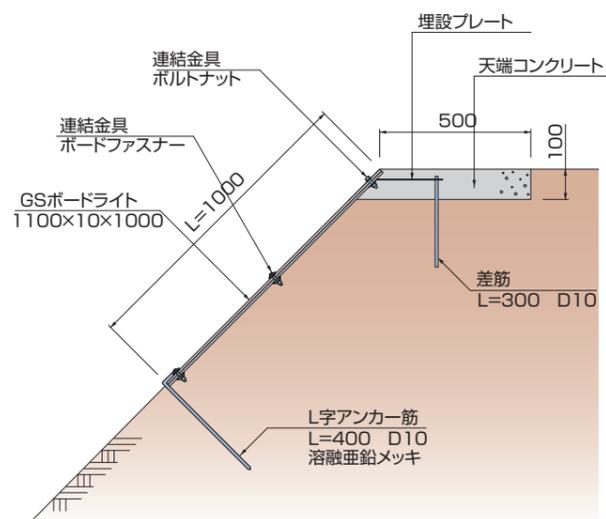
基本形状図
標準施工図

本体 参考重量=23.7kg



L=500~2000まで対応可能です。

■標準施工図



※差筋-L字アンカー筋は現場の状況により長くなる場合がございます。

施工手順

GSボードライト施工写真



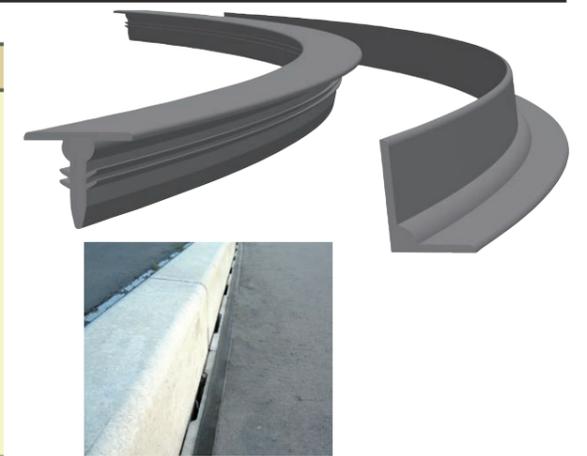
グラスカル施工写真



みぞピタ (防草シール材)

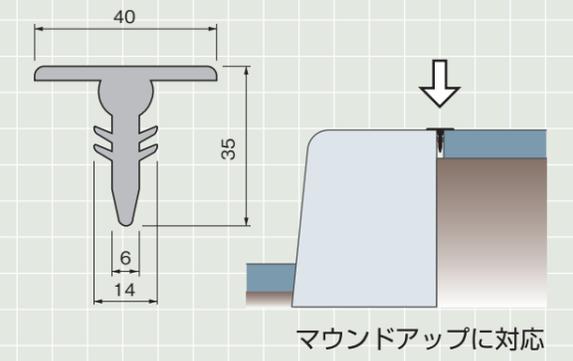
●特長

1. コンクリート構造物とアスファルト舗装の隙間から生える雑草を防止するゴム製のシール材です。
2. コンクリート構造物とアスファルト舗装の間にカッターを入れるため、隙間の中の雑草まで取り除くことができます。
3. 特殊なくさび状の断面形状で溝から抜けにくくなっています。
4. 新設時に使用できるタイプ(Bタイプ)もございます。



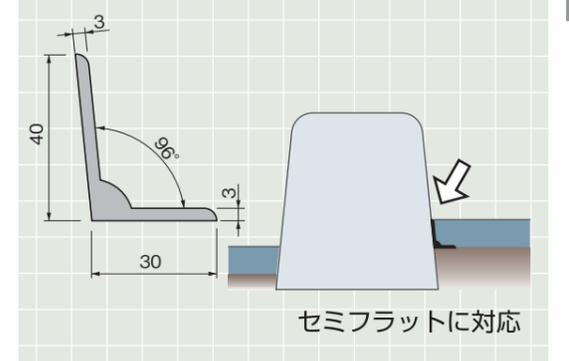
Aタイプ

■断面図



Bタイプ

■断面図



基本形状図

形状・寸法

- ① 約1cmの溝ができるようにカッターを入れます。



- ② 2~3m間隔で、みぞに接着剤を注入します。



- ③ 製品1ロールは10m(Bタイプは3m)です。



- ④ 溝の中に製品下部を押し込んでいきます。



- ⑤ 最後の部分は、ハサミ等で切って調整してください。



施工手順

エッジボード〈GRC製仕切り板〉

GRC

エッジボードは、芝生やグランドカバープランツと舗装材や砂地や植込みとの間に、綺麗な境界線をつくる新しい見切り材です。従来使われていた波板や杉板などの見切り材に比べて、様々な点で優れ、これからの公園づくりや街の景観整備にすばらしい効果を発揮します。

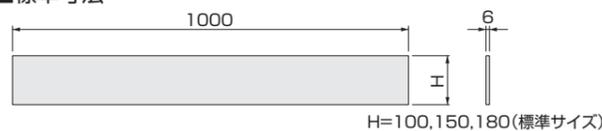
●特長

- 1.従来のプラスチック製品と違って、直線部が美しく仕上がります。
- 2.薄板なので、1mRのカーブも対応可能。美しいエッジラインを演出します。
- 3.主材がGRC製で熱に強く、アスファルト施工にも対応できます。
- 4.敷地の有効利用が可能で段差ができないバリアフリー対応です。

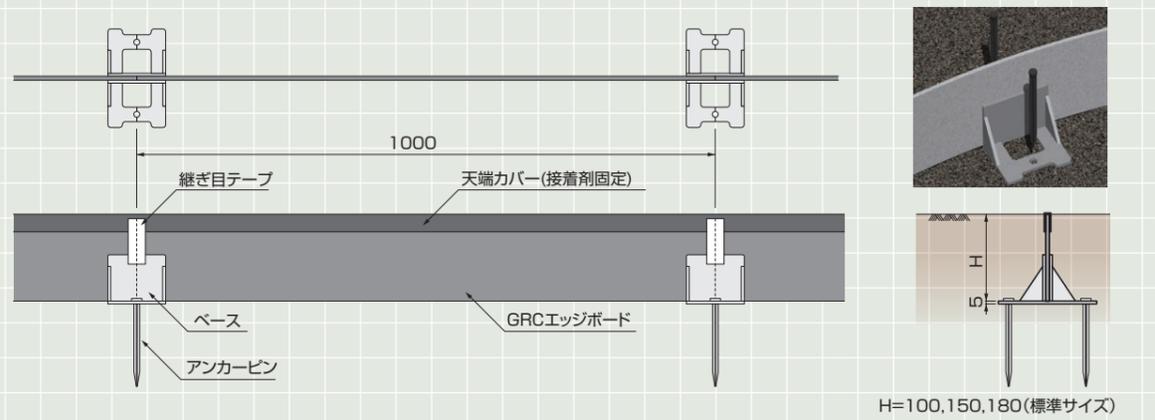


■形状・寸法

■標準寸法



■標準施工図



※標準寸法以外のサイズも特注で対応いたします。詳細は営業担当にご相談下さい。

園路や遊歩道に最適

園路等の見切り材として
天端幅が6mmなのでスッキリとした景観を創出できます。

敷砂の流出は不陸の原因になります

舗装材の敷き砂 流失防止として
ブロック系舗装の、不陸の原因の一つである敷き砂の流出防止が期待できます。

縁石よりもすっきりした仕上がりになります

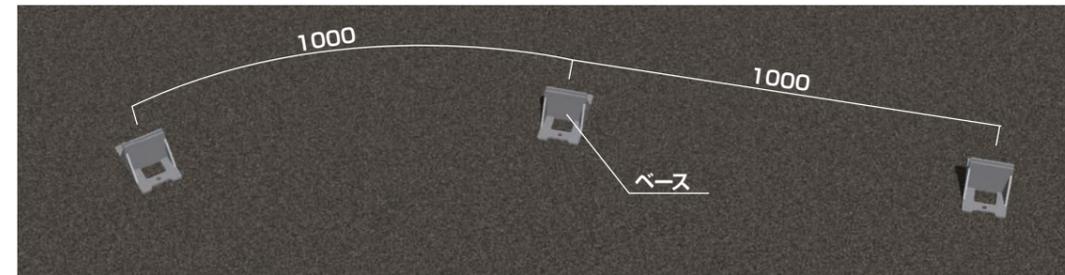
インターロッキング舗装の見切り材として
基本的に歩行者系道路であれば、インターロッキングの見切り材として使用できます(路盤構成に応じたサイズを使用します)

エッジボード施工手順

施工手順

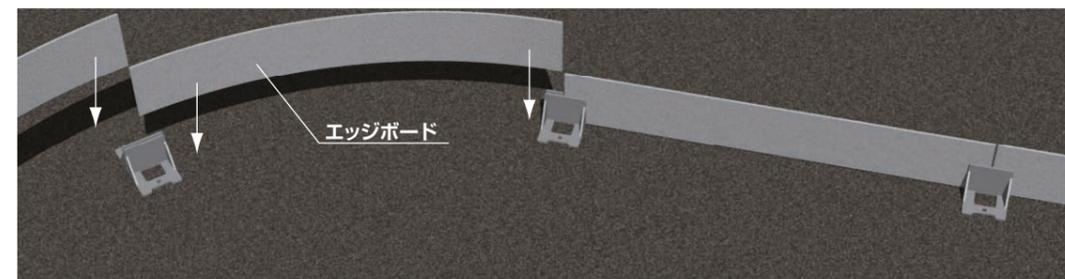
①ベース設置

床掘り後、高さを合わせて、エッジボード本体の継ぎ目の位置にベースを設置します。



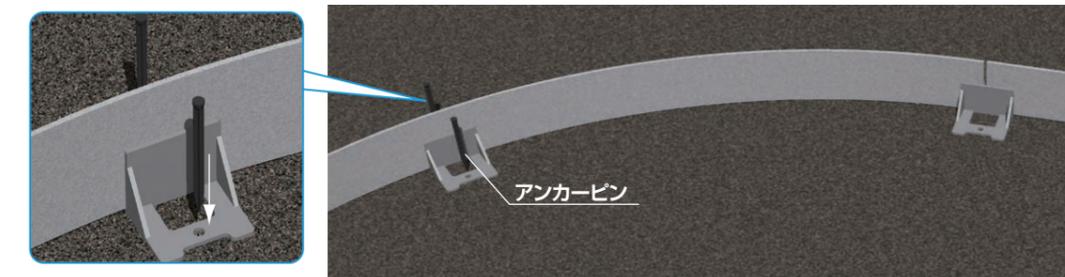
②エッジボード挿入

ベースのスリット部にエッジボードを挿入し、高さを微調整します。R部分は、所定のRになるように、手で少しずつ曲げてから挿入する。急激に曲げると割れる場合があります。



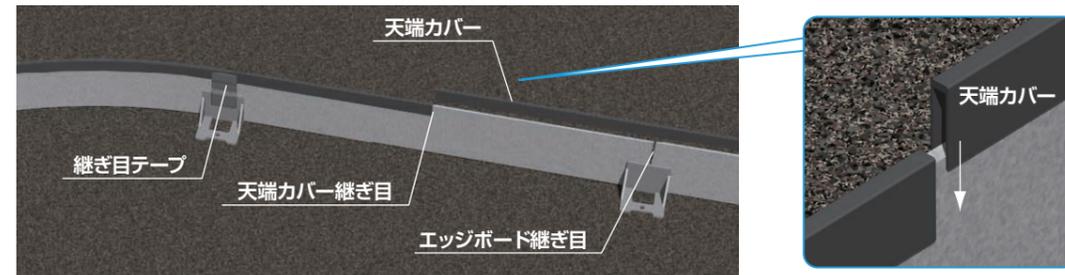
③アンカー打込み

ベースにアンカーピンを打込みずれないようにします。(カーブ部など、ベースが動く可能性があるところだけでも可)



④天端カバー

エッジボードの継ぎ目と天端カバーの継ぎ目が、重ならない位置に挿入します。
芝生・雑草等の根の侵入の防止と、天端カバーのズレ抑制を兼ねて、エッジボードの継ぎ目にテープを貼ります。



※天端カバーは転圧時に製品天端を保護する役割ですので、コンクリート舗装等の転圧をしない舗装の場合は必要はありません。また、天端カバーはアスファルト舗装の冷却時に縮み、継ぎ目に隙間ができる可能性があります隙間が目立った場合は、天端カバーの余りを切って挿入してください。

※舗装材側の基礎材及び埋め戻しと反対側の埋め戻しは製品がズレないように均等に投入してください。さらに、埋め戻した材料を数回に分けて足で踏み固めると、製品がより強固に固定されます。

